

富山県の地震概況 「令和6年(2024年)1月」

令和6年2月14日
富山地方気象台

【1月の概況】

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方を震源とする、マグニチュード7.6の地震が発生し、県内で最大震度5強及び長周期地震動階級3を観測しました。この地震により、富山県に津波警報が発表され、富山検潮所(富山市)で79cmの津波を観測しました。この地震発生から1ヶ月以上が経過し地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少していますが、依然として地震活動は非常に活発です。

最新(2月9日)の評価でも、今後1~2週間程度、最大震度5弱程度以上の強い揺れ及び海底で規模の大きな地震が発生した場合には津波に注意する必要があります。この地域で2020年12月以降一連の地震活動は当分続くと考えられます。地震及び津波への備えを今一度確認してください(P7~9今月の防災メモ参照)。

今期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は182回(先月0回)でしたが、そのうち石川県能登地方を震源とする地震では180回を観測しており、地震活動は非常に活発です。

マグニチュードや震度1以上を観測した地震回数など掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

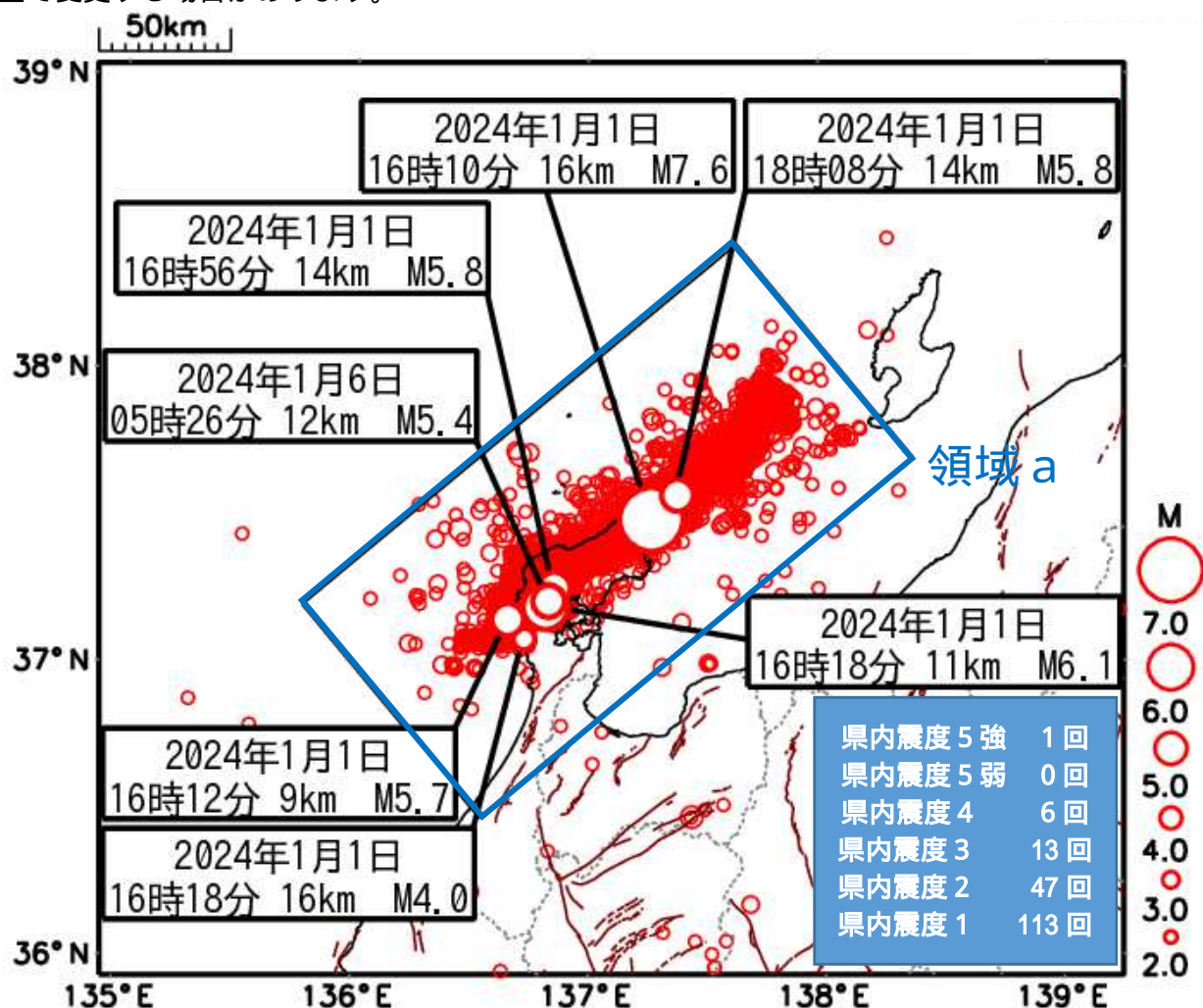


図1 R6年1月の富山県周辺の震央分布図(M2.0以上、深さ0~30km)

吹き出しは、県内最大震度4以上の地震

図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

【石川県能登地方（図1中領域a内）の地震活動について】（～2024年1月まで）

2020年12月以降の活動を見ると、2021年7月以降は地震回数が増加しており、その後も地震活動が活発な状況が続いている中で、2024年1月1日16時10分に同地方でM7.6の地震が発生し、最大震度7を観測しました（図2）。今期間（2024年1月）、石川県能登地方で震度1以上を観測した地震は1500回以上（先月は9回）で、1月1日以降、地震活動は非常に活発な状況となっています（図3）。一連の地震活動は当面継続すると考えられますので、引き続き注意が必要です。なお、この地震活動については、富山地方気象台HP（<https://www.data.jma.go.jp/toyama/>）TOPページ特設リンク「石川県能登地方の地震活動と防災事項ポータルサイト」でも解説していますのでご参照ください。

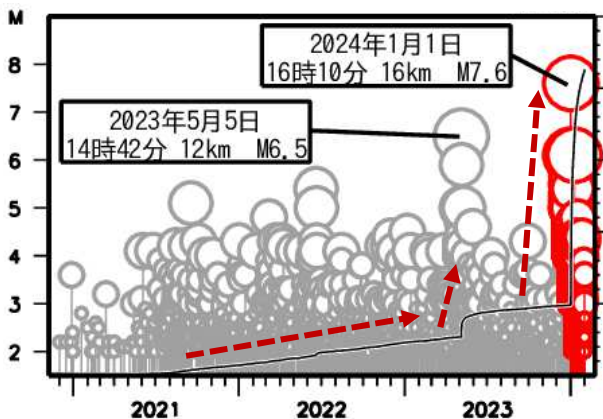


図2 石川県能登地方の地震（図1中領域a内）
地震活動経過及び地震回数積算図
（2020年12月1日～2024年1月31日 M2.0以上）
特に2021年7月頃から地震回数が増加傾向です

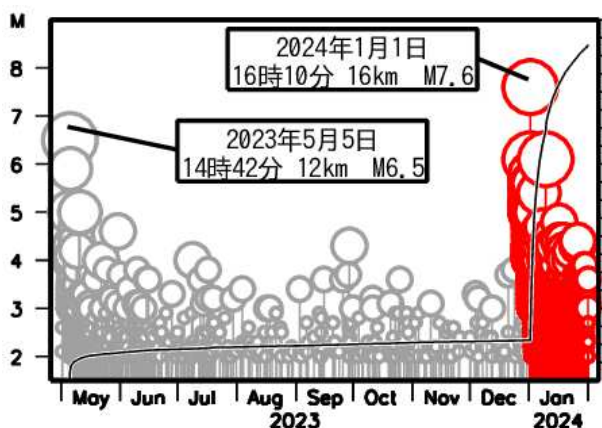


図3 石川県能登地方の地震（図1中領域a内）
地震活動経過及び地震回数積算図
（2023年5月1日～2024年1月31日 M2.0以上）

**1月1日以降の地震活動は非常に活発な状態となっていることから備えがとて重要で
す。一例として、家具の固定、重量物の落下・転倒防止を行うなど、引き続き、強い揺れ
に注意が必要です。また、地震は海域でも発生しており、津波発生のおそれもあるため、
避難経路の再確認などの備えがとて重要です。**

**表1 富山県内における過去1年間の最大震度別（震度1以上）地震回数（月別）
（石川県能登地方を震源とする地震以外も含む）**

年	2023年											2024年	合計
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
震度5強												1	1
震度5弱													0
震度4				2								6	8
震度3				1								13	14
震度2				4								47	51
震度1	1			3		1		1				115	121
合計	1	0	0	10	0	1	0	1	0	0	0	182	195

「令和6年(2024年)1月に富山県内で震度4以上を観測した地震の震央と震度分布図」
 (今期間は地震の数がかなり多い為、震度4以上の地震情報について掲載しています)

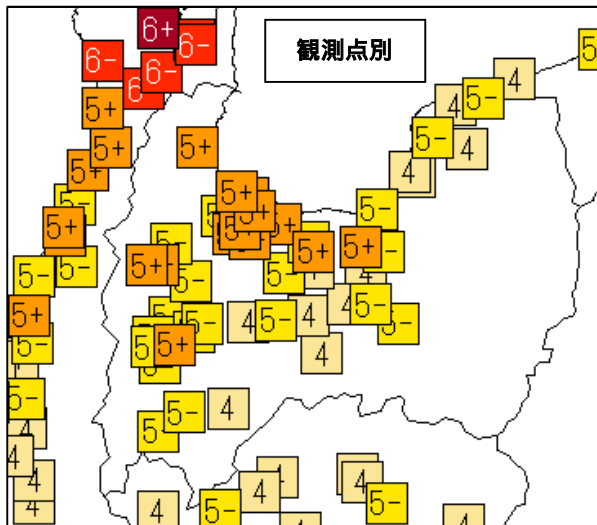


図4 1月1日16時10分 石川県能登地方
深さ16km M 7.6 (富山県)

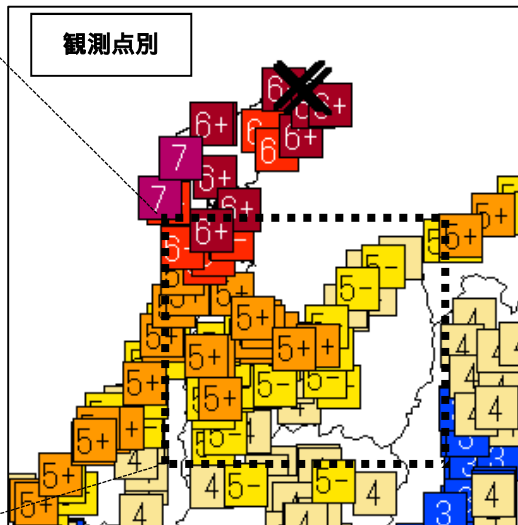


図5 1月1日16時10分 石川県能登地方
深さ16km M 7.6 (富山県周辺)

- 凡例
- 7 震度7
 - 6+ 震度6強
 - 6- 震度6弱
 - 5+ 震度5強
 - 5- 震度5弱
 - 4 震度4
 - 3 震度3
 - 2 震度2
 - 1 震度1
- × : 震央

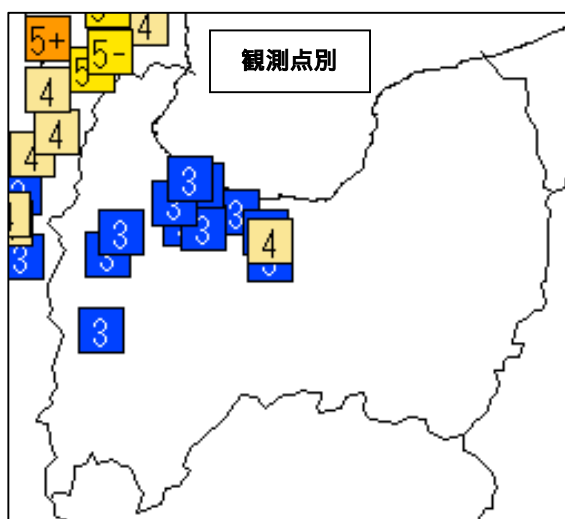


図6 1月1日16時12分 能登半島沖
深さ9km M 5.7 (富山県)

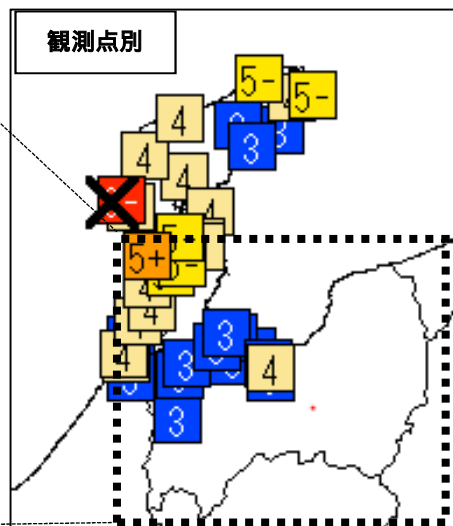


図7 1月1日16時12分 能登半島沖
深さ9km M 5.7 (富山県周辺)

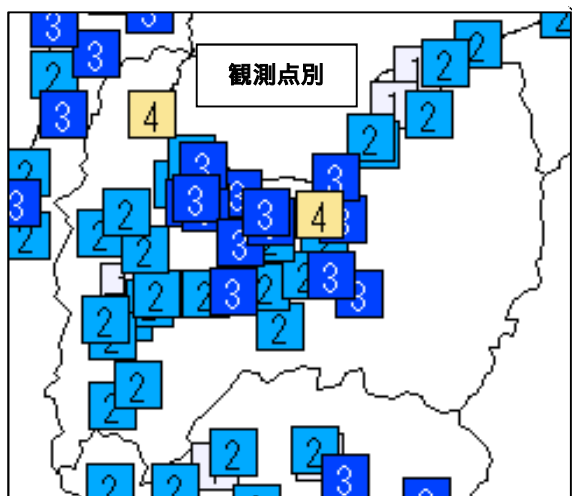


図8 1月1日16時18分 能登半島沖
深さ16km M 4.0 (富山県)

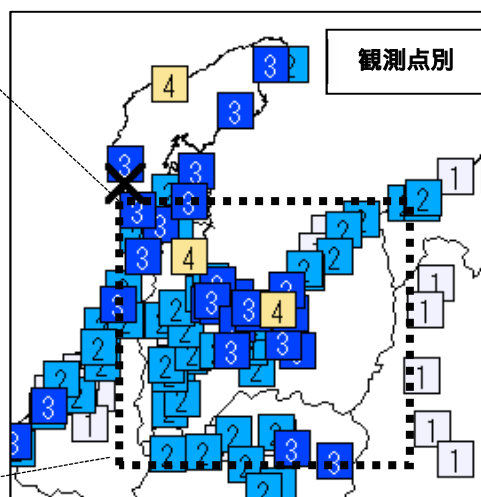


図9 1月1日16時18分 能登半島沖
深さ16km M 4.0 (富山県周辺)

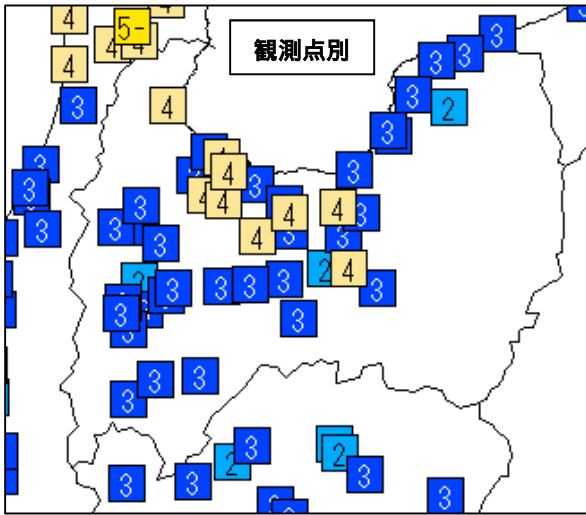


図10 1月1日16時18分 石川県能登地方
深さ11km M 6.1 (富山県)

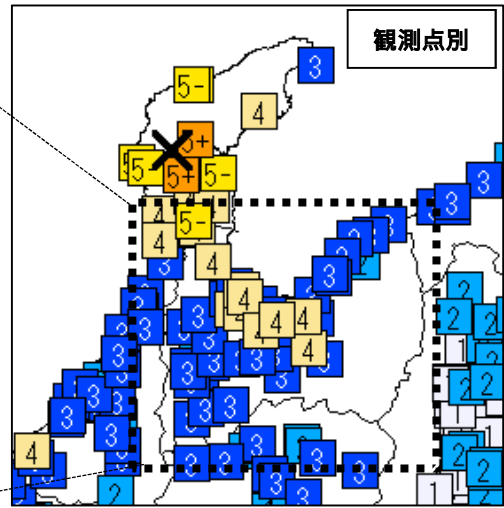


図11 1月1日16時18分 石川県能登地方
深さ11km M 6.1 (富山県周辺)

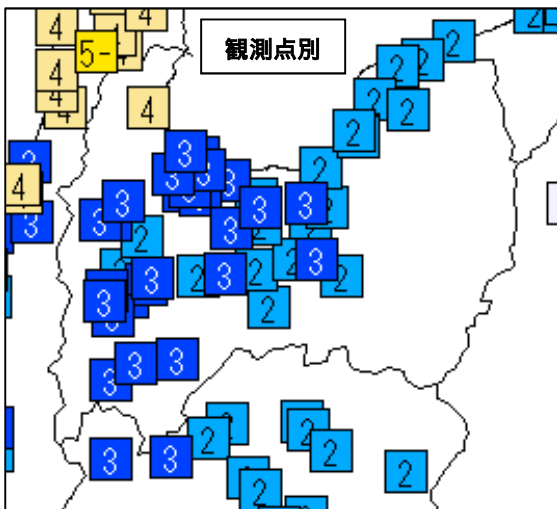


図12 1月1日16時56分 石川県能登地方
深さ14km M 5.8 (富山県)

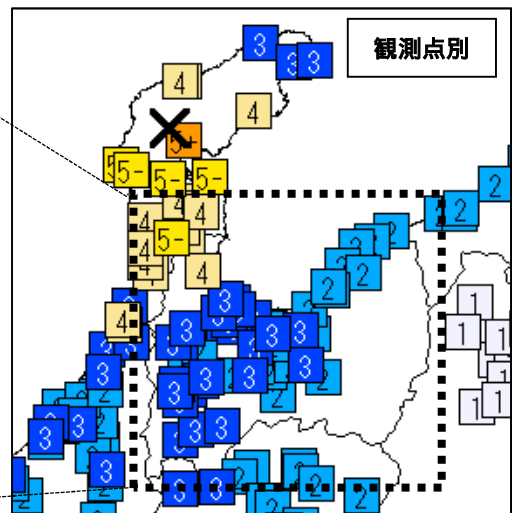


図13 1月1日16時56分 石川県能登地方
深さ14km M 5.8 (富山県周辺)



図14 1月1日18時08分 能登半島沖
深さ14km M 5.8 (富山県)

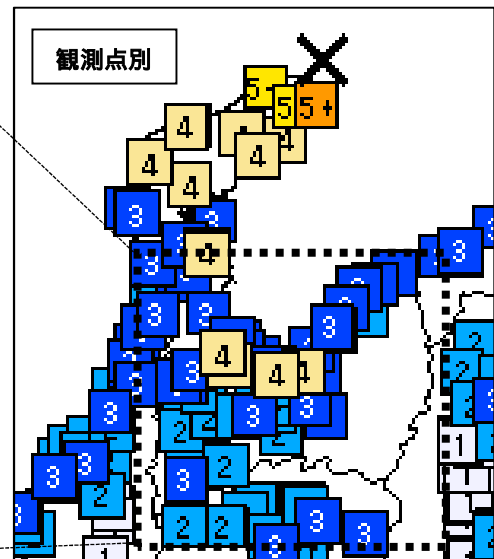


図15 1月1日18時08分 能登半島沖
深さ14km M 5.8 (富山県周辺)

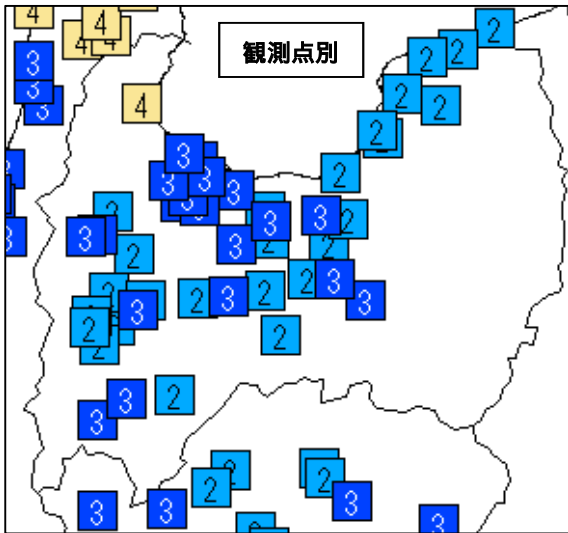


図16 1月6日05時26分 石川県能登地方
深さ12km M 5.4 (富山県)

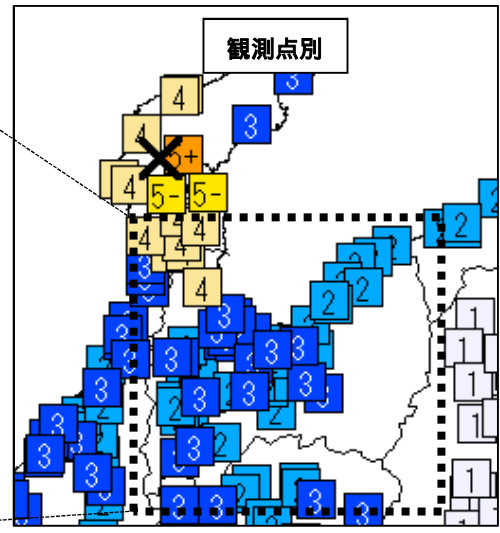


図17 1月6日05時26分 石川県能登地方
深さ12km M 5.4 (富山県周辺)

表2 令和6(2024)年1月に富山県内で観測した地震

(今期間は地震の数かなり多い為、震度5強以上の地震情報のみを掲載しました)

その他の震度1以上の地震活動については、気象庁HP「震度データベース検索」を参照ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

番号	地震の発生日時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	地震の規模
1**	01月01日16時10分	石川県能登地方	37°29.7' N	137°16.2' E	16km	M7.6
	01月01日16時10分	石川県能登地方	37°30.4' N	137°13.8' E	10km	M5.9
	01月01日16時10分	能登半島沖	37°31.0' N	137°14.4' E	10km	M---
	震度5強：富山市新桜町*、舟橋村仏生寺*、高岡市伏木、氷見市加納*、小矢部市泉町、小矢部市水牧*、南砺市蛇喰*、射水市久々湊*、射水市小島*、射水市本町*、射水市橋下条*、射水市二口*、射水市加茂中部* 震度5弱：富山市石坂、富山市八尾町福島、富山市婦中町笹倉*、滑川市寺家町*、黒部市植木*、上市町稗田*、立山町吉峰、立山町芦峯寺*、富山朝日町道下、高岡市広小路*、高岡市福岡町*、砺波市栄町*、砺波市庄川町*、南砺市天池、南砺市荒木*、南砺市城端*、南砺市下梨*、南砺市上平細島*、南砺市井波*、南砺市苗島* 震度4：富山市今泉*、富山市花崎*、富山市上二杉*、富山市山田湯*、富山市榆原*、魚津市釈迦堂、魚津市本江*、黒部市宇奈月町下立*、立山町米沢*、入善町入膳*、富山朝日町境*、南砺市利賀村上百瀬*					

*の付いた観測点は富山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

**は、近接した地域で地震が連続して発生したため、震度を分離できませんでした。

【火山活動状況（弥陀ヶ原）】

富山県の活火山「弥陀ヶ原」の火山活動状況や警戒事項については、以下の資料をご覧ください。

「弥陀ヶ原の火山活動状況」(気象庁 HP)

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/309.html

本資料は速報値のため、後日の調査により変更されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

この資料は富山地方気象台ホームページ「富山県の地震概況」

(https://www.data.jma.go.jp/toyama/_topics/jishin_gaikyo.html)にも掲載しています。

この資料に関する問い合わせは、右記へご連絡願います。 富山地方気象台 地震津波防災官 076-432-2331

C 富山地方気象台 2024年

本資料に含まれているデータ等を利用した場合は、出典を記載してください。

(例1) 出典：富山地方気象台ホームページ（当該ページのURL）

(例2) 「図表等の名称」（富山地方気象台ホームページより）

コンテンツを編集・加工等して利用する場合は、上記出典とは別に、編集・加工等を行ったことを記載してください。

また編集・加工した情報を、あたかも国（又は省庁等）が作成したかのような態様で公表・利用することは禁止します。

利用上の注意事項については「富山地方気象台のホームページについて」

(<https://www.data.jma.go.jp/toyama/shosai/index.html>)を参照してください。

「令和6年能登半島地震」名称を定めました！！ 備えがとても重要です！！改めて今一度、再確認！！

令和6（2024）年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、深さ16km（暫定値）の地震が発生し、県内では、観測開始以来最大となる震度5強及び長周期地震動階級3を観測しました。また、富山県に津波警報が発表され、富山検潮所（富山市）で、79cmの津波を観測しました。その後の現地調査にて、射水市海竜新町で1.5m（遡上高）、朝日町宮崎漁港で1.4m（浸水高）の津波を推定しました。なお、この地震により、人的・住家被害の他、断水（富山県HPより）が発生し、避難生活を余儀なくされた方々もいらっしゃいました。この地震の発生以降、地震活動が非常に活発な状態が続いており、今後1～2週間程度は、最大震度5弱程度以上の地震に注意が必要です。（令和6年2月9日気象庁報道発表資料第17号より）

改めて今一度、地震や津波に対する備えや避難経路等の再確認を行いましょう。

【防災事項】

- 1月1日に発生したM7.6の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨・降雪の状況に十分注意。やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図る。
地震は海域でも発生しており、大きな地震が発生した場合は津波が発生することがあるので、避難経路の確認などの備えも重要。
- 一連の活発な地震活動は当面継続するので、家具の固定、重量物の落下・転倒の防止を行うなど、強い揺れを伴う地震へ注意。
石川県では、地盤が脆弱になっている可能性が高くなっており、土砂災害の危険性が通常より高いと考えられる。
- 冬季の積雪が深いほど地震時に住宅にかかる負担が大きくなることから、住宅等の屋根の積雪状況についても留意。

【今一度確認を】

- ・ハザードマップ（地震・津波）を再確認
（津波想定予想時間を知り、避難はなるべく徒歩で、避難所を再確認）
- ・学校、職場、通学路、通勤路等の災害リスクを再確認
等です。ご自身の環境に合わせて備えてください。
「津波」から身を守るために（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html

【令和6年能登半島地震における気象庁機動調査班（JMA-MOT）による津波に関する現地調査の結果について】（令和6年1月26日発表）

1月11日から20日にかけて、津波観測点付近や津波による顕著な被害があった地点において津波の痕跡等を調査しました。富山県内の調査結果は下記のとおりです。

詳細は、以下のURLの資料をご参照ください。

都道府県	調査地点	推定した津波の高さ	津波高の種類
富山県	朝日町宮崎漁港	1.4m	浸水高
富山県	射水市海竜新町	1.5m	遡上高

https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/26a/20240126_tsunami_chousakekka.pdf

大きな揺れ、津波警報などですぐ避難！

海から離れる	ただちに高い場所へ	車は使わない
		
<ul style="list-style-type: none">・絶対に海を見に行かない・津波警報などの発表時は戻らない	<ul style="list-style-type: none">・避難所ではなく避難場所へ・日頃から避難場所の確認を	<ul style="list-style-type: none">・渋滞に巻き込まれる懸念・原則、徒歩で避難を

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

(Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可)

○津波を知る「津波の特徴」

津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

- ・沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、**急激に高くなります。**
- ・津波の伝播速度は非常に速く、**見てから逃げるのでは間に合いません。**
- ・周辺の地形により反射や屈折を経て繰り返して襲ってきます。**後から来る津波の方が高くなる**こともあります。
- ・津波の力は非常に強く、**高さ0.2～0.3m程度の津波も人は速い流れに巻き込まれてしまうおそれがあり大変危険**です。
津波は「引き」から始まるとは限りません。“潮が引いたら逃げればよい”というのは大きな間違いです。
- ・沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなる**こともあります。
- ・潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで**数時間以上**かかることもあります。

○津波に備える・津波から身を守る行動の具体例

- ・危険な場所を確認
自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。
- ・避難場所を確認
津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。
- ・訓練に参加しよう
実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

○安全を確保するための行動

津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、**海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難**しましょう。

- ・解除まで気を付けて
津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、

避難を続けてください。津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。

- ・注意報でも海中は危険
津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。
- ・正しい情報入手
テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報入手しましょう。

あつ！地震だ

どうしたらいいの？

まずは揺れから身を守ろう！

- 安全な場所に避難
- 姿勢を低くして身を守る
- かばんや本などで頭を守る

「より高いところ」を目指して逃げよう！ 急げ！！

津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。津波は水深が深いところではジェット機ぐらいの速さで襲ってきます。

「車で逃げれば大丈夫」と思っていないですか？
車を利用した場合、渋滞などにより円滑に避難できない恐れがあります。原則、徒歩で避難しましょう。

津波避難ビル

津波避難場所

海岸付近で地震の揺れを感じたり津波警報が発表されたら、
ただちに高い場所に急いで避難しましょう。

目指すところは、避難所ではなく避難場所！

沿岸沿いにお住まいの方や旅行される方は、「津波ハザードマップ」で「津波の避難場所」等を確認しておきましょう。また、日頃からいろいろな場合を考えて、避難経路やいざという時の行動などを周りの人と話し合っておくことが大切です。
(避難所はその後の避難生活を送るための場所なので、切迫した災害の危険から逃れるための避難場所とは違います。)

津波警報等を知る手段

- ラジオ
- 津波フラッグ 海水浴場等で知らせる
- サイレン
- テレビ
- 携帯電話

テレビ、ラジオ、スマホ等により最新の情報を確認しましょう。

併せて、「地震」から身を守るためには、先月発表しております。富山県の地震概況「令和5年（2023年）12月」を参照ください。

https://www.data.jma.go.jp/toyama/topics/pdf/jisin/jisin_12.pdf